

## 保護者等向け

## 児童発達支援評価表

記入年月日:令和5年 10月

|             |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいない | いいえ | ご意見   |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 14 |               |     |   |
|             | 2  | 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 12 | 2             |     |   |
|             | 3  | 事業者の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか   | 7  | 7             |     | 良く見ておらず、正直わかりません。あまり意識しておらず、記憶が曖昧なので、中間をとりました。ドアが手動で開けられるので、少し心配です。 |
| 適切な支援の提供    | 4  | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか   | 14 |               |     |   |
|             | 5  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 13 | 1             |     |   |
|             | 6  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 13 | 1             |     |   |
|             | 7  | 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか  | 13 | 1             |     |   |
|             | 8  | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 10 | 3             | 1   | 交流について、あまり把握できていません。  |
|             | 9  | 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか  | 14 |               |     |   |
| 保護者への説明等    | 10 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか   | 13 | 1             |     |   |
|             | 11 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・プログラム※ iv 等)が行われているか   | 6  | 7             | 1   |   |
|             | 12 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか  | 14 |               |     |   |
|             | 13 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 12 | 2             |     |   |
|             | 14 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか   | 2  | 5             | 7   | 把握できていません。保護者同士の交流があると良いと思います。                                      |
|             | 15 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか   | 12 | 2             |     |   |
|             | 16 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか   | 13 |               |     |   |

|         |    |  |    |   |  |                              |
|---------|----|--|----|---|--|------------------------------|
|         | 17 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか     | 13 |   |  |                              |
|         | 18 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか   | 12 | 1 |  |                              |
| 非常時等の対応 | 19 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 7  | 5 |  | 対応をされていると思うのですが、内容を把握していません。 |
|         | 20 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                    | 9  | 3 |  | わかりません。                      |
| 満足度     | 21 | 子どもは通所を楽しみにしているか   | 13 |   |  | とても楽しそうで、広い所で動けることが良いようです。   |
|         | 22 | 事業所の支援に満足しているか   | 13 |   |  | いつもありがとうございます。               |

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....  
 (保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

## 保護者等向け

## 児童発達支援評価表

|                                      | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|--------------------------------------|---|----|---------------|-----|-------|-----|
| 環境・<br>体制整備                          | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか  | 5  |               |     |       |     |
| 適切な支援の提供                             | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか   | 5  |               |     |       |     |
|                                      | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5  |               |     |       |     |
|                                      | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか  | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 5  |               |     |       |     |
| 保護者への説明等                             | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか  | 4  | 1             |     |       |     |
|                                      | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・プログラム※ iv 等)が行われているか  | 5  |               |     |       |     |
|                                      | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか   | 5  |               |     |       |     |
|                                      | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 5  |               |     |       |     |
|                                      | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか  | 3  |               | 2   |       |     |
|                                      | 16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか  | 4  | 1             |     |       |     |
| 17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 4   | 1  |               |     |       |     |

|         |    |  |   |   |   |  |  |
|---------|----|--|---|---|---|--|--|
|         | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか     | 5 |   |   |  |  |
|         | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか   | 3 | 1 | 1 |  |  |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 3 | 1 | 1 |  |  |
|         | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                    | 4 | 1 |   |  |  |
| 満足度     | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか   | 5 |   |   |  |  |
|         | 23 | 事業所の支援に満足しているか   | 5 |   |   |  |  |

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

|                                  |  | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいえ | いいえ   | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|----------------------------------|--|---|----|--------------|---|---|
| 環境・<br>体制<br>整備                  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか  | 7  | 1            |   | 療育の部屋を分けて、環境を整えている。   |
|                                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | 4  | 4            |   | 現在は、対一で支援に入ることが出来ている。                                       |
|                                  | 3  | 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか  | 7  | 1            |   | バリアフリー化としては、トイレのドアの開閉の向きや広さの改善が必要である。                       |
| 業務<br>改善                         | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか  | 2  | 4            |   | 会議は行っているので、情報共有をしっかりと行っていきたい。                               |
|                                  | 5  | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか  | 3  | 3            |   | 送迎を利用されている方とは、なかなか保護者の方と関わりが少ない為、連絡帳や電話等で密に情報共有を行っていく必要がある。 |
|                                  | 6  | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                   | 6  | 1            |   | ホームページに定期的に載せ、公開している。必ず年に一度は自己評価をし、情報共有や、改善へつなげている。         |
|                                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか   | 4  | 3            |   | 施設支援やスーパーバイザー派遣を活用し、職員の質の向上に努めている。                          |
|                                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか  | 8  |              |   | 早目に研修参加日を決め、当日の職員調整をしている。                                   |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | 7  | 1            |   |   |
|                                  | 10   | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 3  | 5            |   |   |
|                                  | 11   | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5  | 1            |   | ガイドラインの把握が不十分の為、再度確認をおこなう。入社して把握できていない部分があるので、これから勉強していきたい。 |
|                                  | 12   | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 7  | 1            |   | 各児童の支援目標を日誌上に記載し、職員が共通理解できるようにしている。                         |
|                                  | 13   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 6  | 1            | 1   | 活動を職員間で話し合いながら立案している。特定の職員が立案していることもある為、職員全員で行えると良い。        |
|                                  | 14   | 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか  | 7  | 1            |   | 随時、話し合いを試みている。  |
|                                  | 15   | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか  | 8  |              |   | 保護者の方の意向や利用者さんの発達段階に応じて支援計画を立てている。                          |
| 16                               | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか      | 8   |    |              | その日の利用者さんの担当を決め、支援の内容を共有している。               |   |
| 17                               | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5   | 7  |              | 支援の振り返りを行い、次につなげている。当日、または次回の利用時までには共有している。 |   |

|              |       |   |                             |   |   |  |
|--------------|-------|---|-----------------------------|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 18    | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 6                           | 2 |   | 支援内容を日誌に記録し、共有している。生活面（食事、排泄）等の記録も行っている。         |
|              | 19    | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | 6                           | 1 |   | 半年に一度モニタリングを行い見直しをしている。                          |
|              | 20    | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | 8                           |   |   | 児童発達支援管理責任者が、担当者会議に参加している。                       |
|              | 21    | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | 6                           | 1 |   |  |
|              | 22    | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか                     | 3                           | 2 | 1 | 現在は、医療的ケアの必要な児がいない。                              |
|              | 23    | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか                                 | 1                           | 4 | 1 | 現在は、医療的ケアの必要な児がいない。                              |
|              | 24    | 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等の間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか   | 6                           | 1 |   | 移行へ向けて、保護者、園と情報共有を行い、相互理解を図っている。                 |
|              | 25    | 小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | 6                           | 1 |   |  |
|              | 26    | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか   | 6                           | 2 |   | 内部研修、外部研修に参加し、質の向上に努めている。施設支援やスーパーバイザー派遣を活用している。 |
|              | 27    | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 4                           | 1 | 1 |  |
|              | 28    | (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか   | 1                           | 3 | 2 |  |
|              | 29    | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 6                           | 2 |   | 連絡ノートや電話連絡で様子を伝えている。                             |
|              | 30    | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・プログラム等）の支援を行っているか  | 4                           | 4 |   | ペアレントプログラムを行っている。                                |
|              | 保護者への | 31  | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 |   |  |
| 32           |       | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 5                           | 1 |   |  |
| 33           |       | 保護者からの子育て悩みに等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 5                           | 2 |   |  |
| 34           |       | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   |                             | 2 | 4 | 11月に交流会を開催予定である。<br>今後、年に1回は必ず開催していきたい。          |

|         |   |   |   |   |   |  |
|---------|---|---|---|---|---|--|
| 説明責任等   | 35  | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 |   | 7 |  |
|         | 36  | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                           | 6 |   |   | 毎月、おたよりを発行し、ホームページにも載せている。                           |
|         | 37  | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 8 |   |   | 十分に注意している。   |
|         | 38  | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                       | 7 | 1 |   |  |
|         | 39  | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   | 2 | 3 |  |
| 非常時等の対応 | 40  | 緊急時対応マニュアル、初動マニュアル、避難所対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか        |   |   |   | 災害時の避難場所をお便りに載せ、お知らせをしている。                           |
|         | 41  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 7 | 1 |   |  |
|         | 42  | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | 6 | 1 |   | 予防接種の状況の確認までは出来ていない。                                 |
|         | 43  | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       | 5 | 2 |   | 家族からの情報収集で確認をしている。                                   |
|         | 44  | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 7 | 1 |   | 口頭での情報共有はできているが、記入が十分にできていないこともある。予測を心掛け、事前予防に努めている。 |
|         | 45  | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 8 |   |   | 研修を計画し、職員一人一人に参加を呼び掛けている。                            |
| 46      | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 2   | 5 |   |   |  |

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

|         | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|---------|--|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか   | ○  |     | 利用定員数では、十分な活動スペースを設けている。<br>活動内容に応じて、部屋を分ける等の対応もできている。            |
|         | 2 職員の配置数は適切であるか  | ○  |     | 言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員と各専門の職員を配置している。                          |
|         | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | ○  |     | 車椅子利用の方も移動がしやすいように、環境を整えている。<br>活動ごとに部屋を分け、利用者の方が分かりやすいように配慮している。 |
|         | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか   | ○  |     | 気持ちよく利用していただけるように、清掃も心がけている。子どもたちに応じた配慮を行っている。                    |
| 業務改善    | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか   | ○  |     | 定期的に会議を設け、現状の見直し、振り返りを行っている。                                      |
|         | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか   | ○  |     | 評価表を保護者の方に配布し、集計後、振り返りを行っている。                                     |
|         | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                    | ○  |     | スタッフ向けの評価表と保護者向けの評価を比較しながら、改善点を見直している。                            |
|         | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  |    | ○   | 現在は行っていない。  |
|         | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか   | ○  |     | 法人内研修や、外部で行われている研修にも参加し、資質向上を目指している。                              |
| 適切な     | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |     | 子どもの状況を把握し、子どもや保護者のニーズに応じた計画書を作成している。                             |
|         | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | ○  |     | 子どもの様子や保護者の方からのアセスメント、事業所のアセスメントを取り、子どもの状況把握に努めている。               |
|         | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○  |     | 計画を立てる際には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」を考慮しながら設定している。                        |
|         | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○  |     | その都度、計画に沿った振り返りを行い、適切な支援を行っている。                                   |

|  |    |   |   |  |
|--|----|---|---|--|
| 支<br>援<br>の<br>提<br>供                                    | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | ○ | 職員間で話し合いながら、行っている。   |
|  | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | ○ | それぞれの専門分野を生かした活動プログラムを設定し、子どもたちにも飽きが来ないように考慮している。                            |
|  | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか                                   | ○ | STやOTの個別の活動や、保育での集団の活動を組み合わせながら、個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。                   |
|  | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                   | ○ | 毎日記録をつけ、職員間で共有している。  |
|  | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                              | ○ | 必ず、その日のうちに支援内容を振り返り、情報共有し、次の支援へつなげるようにしている。                                  |
|  | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | ○ | 個人の記録は丁寧に取るようにしている。次の支援につながるようにも振り返りも行っている。                                  |
|  | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○ | 児童発達支援管理責任者が関係機関と情報共有をしたり、事業所内でも情報共有してモニタリングを行っている。                          |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                                | ○ | 会議には、児童発達支援管理責任者やSTなどの専門員が参加している。  |
|  | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | ○ | 保健師や相談員が関係者と連携し、支援を行っている。  |
|  | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | 医療的ケアが必要な子どもも利用しており、必要に応じて情報共有しながら関係機関と連携を図っている。                             |
|  | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか             | ○ | 現在、医療的ケアが必要な子どもはいるものの、事業所内では医療的ケアは行っていない。今後、事業所内で医療的ケアが必要な場合には、入念な準備をしていきたい。 |
|  | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                    | ○ | 各保育所と常に情報共有しながら、支援につなげている。   |
|  | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                                | ○ | 児童発達支援事業は、開所して間もないので、まだ移行支援は行っていないが、今後は、小学校に入学する前などには、丁寧に移行支援を行ってきたい。        |
|  | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                         | ○ | 別府発達医療センターからの施設支援で助言を受けたり、相談会などで助言を求めるようにしている。                               |
|  | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | ○ | 今は、そのような活動は行っていない。   |
|  | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  | ○ | 自立支援協議会には、法人内のスタッフが参加している。   |
|  | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                                   | ○ | 連絡帳の記入や、送迎時にその日の様子を保護者へお伝えしている。また、モニタリング時期に、成長の様子や現状について報告している。              |

|            |    |   |   |  |
|------------|----|---|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・プログラム等）の支援を行っているか  | ○ | 毎年、ペアレント・プログラムをいきいきっ子クラブ等利用中の保護者や地域の保護者に向けて行っている。                                  |
|            | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○ | 利用開始の時に行っている。  |
|            | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | 保護者には、日ごろの様子を伝えたり、ご自宅での様子や・学校での様子を総合的に考慮した点の説明を行い、保護者の意見もうかがいながら、計画書の同意を得るようにしている。 |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○ | 普段から日頃の様子をうかがうようにしており、その都度相談に応じることができるよう支援を行っている。                                  |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | ○ | 今年度は、児童発達支援事業の保護者会を企画している。   |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                         | ○ | そのような場合には、保護者や子どもたちからの申し入れにできる限り対応できるようにしていきたい。                                    |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | ○ | 毎月、いきいきっ子国東だよりを発刊している。日頃の子どもたちの様子や活動内容などをお知らせしている。                                 |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | ○ | 留意している。  |
|            | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | ○ | その子どもにとって、どの手段が分かりやすいかを考慮しながら、支援を提供している。   |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | ○ | 現在は、行っていない。  |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | ○ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが、周知することにおいては、不十分な点もある。                       |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ | 避難訓練を定期的実施し、振り返りを行いながら、常に備えている。  |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | ○ | 利用前に保護者へのききとりで、服薬・てんかん発作等の状況確認を行っている。  |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | ○ | 保護者からの聞き取りで、対応を行っている。  |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ | ヒヤリハット・事故報告書を作成し、職員間で共有している。   |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ | 虐待防止委員会や身体拘束適正委員会等の研修に参加している。  |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか                           | ○ | やむをえず身体拘束を行う際には、計画書に記載し、保護者への同意を得るようにしている。   |

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

|   | チェック項目   | はい | どちらとも<br>いいえ | いいえ   | 工夫している点、課題や改善すべき点など  |
|---|--|----|--------------|---|--|
| 環境・体制整備   | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか   | 7  | 1            |   | 療育の部屋を分けて、環境を整えている。  |
|   | 2 職員の配置数は適切であるか  | 4  | 4            |   | 現在は、対一で支援に入ることが出来ている。  |
|   | 3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか   | 7  | 1            |   | バリアフリー化としては、トイレのドアの開閉の向きや広さの改善が必要である。  |
| 業務改善  | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか   | 2  | 4            |   | 会議は行っているのに、情報共有をしっかりと行っていきたい。  |
|   | 5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか   | 3  | 3            |   | 送迎を利用されている方とは、なかなか保護者の方と関わりが少ない為、連絡帳や電話等で密に情報共有を行っていく必要がある。  |
|   | 6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                    | 6  | 1            |   | ホームページに定期的に載せ、公開している。必ず年に一度は自己評価をし、情報共有や、改善へつなげている。  |
|   | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  | 4  | 3            |   | 施設支援やスーパーバイザー派遣を活用し、職員の質の向上に努めている。   |
| 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                          | 8  |    |              | 早目に研修参加日を決め、当日の職員調整をしている。                   |  |
| 適切な支援の提供  | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか  | 7  | 1            |   |  |
|   | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | 3  | 5            |   |  |
|   | 11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 5  | 1            |   | 児童発達支援事業のガイドラインを再度読んでもらい、確認が済んだらサインをしてもらうことで職員全員が把握できるよう工夫した。  |
|   | 12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | 7  | 1            |   | 各児童の支援目標を日誌上に記載し、職員が共通理解できるようにしている。  |
|   | 13 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | 7  | 0            | 1   | 活動を職員間で話し合いながら立案している。特定の職員が立案していることもあったため、定期的に会議をする時間を設け、その中で活動内容について情報共有・検討するようにし、職員全員が活動内容の立案等ができるようにしている。 |
|   | 14 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか  | 7  | 1            |   | 随時、話し合いを試みている。   |
|   | 15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を区別し、適切な支援を提供しているか  | 8  |              |   | 保護者の方の意向や利用者さんの発達段階に応じて支援計画を立てている。   |
| 16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか      | 8  |    |              | その日の利用者さんの担当を決め、支援の内容を共有している。               |  |
| 17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 5  | 7  |              | 支援の振り返りを行い、次につなげている。当日、または次回の利用時までには共有している。 |  |

|              |       |   |                             |   |   |  |
|--------------|-------|---|-----------------------------|---|---|--|
|              | 18    | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 6                           | 2 |   | 支援内容を日誌に記録し、共有している。生活面（食事、排泄）等の記録もやっている。                                 |
|              | 19    | 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか   | 6                           | 1 |   | 半年に一度モニタリングを行い見直しをしている。  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20    | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか  | 8                           |   |   | 児童発達支援管理責任者が、担当者会議に参加している。   |
|              | 21    | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | 6                           | 1 |   |  |
|              | 22    | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか                     | 3                           | 2 | 1 | 現在は、医療的ケアの必要な児がいない。  |
|              | 23    | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか                                 | 1                           | 4 | 1 | 現在は、医療的ケアの必要な児がいない。  |
|              | 24    | 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等の中で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか   | 6                           | 1 |   | 移行へ向けて、保護者、園と情報共有を行い、相互理解を図っている。   |
|              | 25    | 小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか  | 6                           | 1 |   |  |
|              | 26    | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか   | 6                           | 2 |   | 内部研修、外部研修に参加し、質の向上に努めている。施設支援やスーパーバイザー派遣を活用している。                         |
|              | 27    | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | 4                           | 1 | 1 |  |
|              | 28    | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  | 1                           | 3 | 2 |  |
|              | 29    | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか   | 6                           | 2 |   | 連絡ノートや電話連絡で様子を伝えている。   |
|              | 30    | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・プログラム等)の支援を行っているか  | 4                           | 4 |   | ペアレントプログラムを行っている。  |
|              | 保護者への | 31  | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 6 |   |  |
| 32           |       | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 5                           | 1 |   |  |
| 33           |       | 保護者からの子育て悩みに等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 5                           | 2 |   |  |
| 34           |       | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | 5                           | 1 | 0 | 11月に保護者交流会を開催した。保護者同士の交流がしやすくなるように、今後は保護者会の内容も工夫していきたい。 年に1回は必ず開催していきたい。 |

|         |    |   |   |   |   |  |
|---------|----|---|---|---|---|--|
| 説明責任等   | 35 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 8 |   |   |  |
|         | 36 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                           | 6 |   |   | 毎月、おたよりを発行し、ホームページにも載せている。   |
|         | 37 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 8 |   |   | 十分に注意している。   |
|         | 38 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                       | 7 | 1 |   |  |
|         | 39 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   | 2 | 3 |  |
| 非常時等の対応 | 40 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか        | 5 | 2 | 0 | 災害時の避難場所をお便りに載せ、お知らせをしている。年度初めに緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対策マニュアル等について文書でお知らせしていく予定。 |
|         | 41 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 7 | 1 |   |  |
|         | 42 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | 6 | 1 |   | 予防接種の状況の確認までは出来ていない。   |
|         | 43 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか                                       | 5 | 2 |   | 家族からの情報収集で確認をしている。   |
|         | 44 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 7 | 1 |   | 口頭での情報共有はできているが、記入が十分にできていないこともある。予測を心掛け、事前予防に努めている。                           |
|         | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 8 |   |   | 研修を計画し、職員一人一人に参加を呼び掛けている。  |
|         | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 2 | 5 |   |  |

## 事業所職員向け

## 児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

|         | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|---------|--|----|-----|---|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか   | ○  |     | 利用定員数では、十分な活動スペースを設けている。活動内容に応じて、部屋を分ける等の対応もできている。  |
|         | 2 職員の配置数は適切であるか  | ○  |     | 言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員と各専門の職員を配置している。  |
|         | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか  | ○  |     | 車椅子利用の方も移動がしやすいように、環境を整えている。活動ごとに部屋を分け、利用者の方が分かりやすいように配慮している。   |
|         | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか   | ○  |     | 気持ちよく利用していただけるように、清掃も心がけている。子どもたちに応じた配慮を行っている。  |
| 業務改善    | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか   | ○  |     | 定期的に会議を設け、現状の見直し、振り返りを行っている。  |
|         | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか   | ○  |     | 評価表を保護者の方に配布し、集計後、振り返りを行っている。   |
|         | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                    | ○  |     | スタッフ向けの評価表と保護者向けの評価を比較しながら、改善点を見直している。  |
|         | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  |    | ○   | 現在は行っていない。  |
|         | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか   | ○  |     | 法人内研修や、外部で行われている研修にも参加し、資質向上を目指している。できるだけ研修会には積極的に参加できるように、業務の調整等も行い、研修の伝達なども必ず行うようにして、スタッフの質の強化に努めていきたい。 |
| 適切か     | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか   | ○  |     | 子どもの状況を把握し、子どもや保護者のニーズに応じた計画書を作成している。   |
|         | 11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか   | ○  |     | 子どもの様子や保護者の方からのアセスメント、事業所のアセスメントを取り、子どもの状況把握に努めている。   |
|         | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | ○  |     | 計画を立てる際には、「発達支援」「家族支援」「地域支援」を考慮しながら設定している。  |
|         | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか  | ○  |     | その都度、計画に沿った振り返りを行い、適切な支援を行っている。   |

|  |    |   |   |  |
|--|----|---|---|--|
| は<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供                               | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか   | ○ | 職員間で話し合いながら、行っている。   |
|  | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | ○ | それぞれの専門分野を生かした活動プログラムを設定し、子どもたちにも飽きがないように考慮している。ST、OT、保育士の役割を決め、利用者のニーズに応じたより良い支援や活動プログラムを考え、実施していきたい。 |
|  | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか                                   | ○ | STやOTの個別の活動や、保育での集団の活動を組み合わせながら、個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。   |
|  | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                                   | ○ | 毎日記録をつけ、職員間で共有している。  |
|  | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                              | ○ | 必ず、その日のうちに支援内容を振り返り、情報共有し、次の支援へつなげるようにしている。  |
|  | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | ○ | 個人の記録は丁寧に取るようにしている。次の支援につながるように振り返りも行っている。   |
|  | 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか  | ○ | 児童発達支援管理責任者が関係機関と情報共有をしたり、事業所内でも情報共有してモニタリングを行っている。  |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                                | ○ | 会議には、児童発達支援管理責任者やSTなどの専門員が参加している。  |
|  | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | ○ | 保健師や相談員が関係者と連携し、支援を行っている。  |
|  | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | ○ | 医療的ケアが必要な子どもも利用しており、必要に応じて情報共有しながら関係機関と連携を図っている。   |
|  | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)<br>子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか             | ○ | 現在、医療的ケアが必要な子どもはいるものの、事業所内では医療的ケアは行ってない。今後、事業所内で医療的ケアが必要な場合には、入念な準備をしていきたい。                            |
|  | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                    | ○ | 各保育所と常に情報共有しながら、支援につなげている。個々の特性に応じたサービス提供を意識し、関係機関と支援内容の情報共有をするようにしている。                                |
|  | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                                | ○ | 児童発達支援事業は、開所して間もないので、まだ移行支援は行っていないが、今後は、小学校に入学する前などには、丁寧に移行支援を行っていききたい。                                |
|  | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                         | ○ | 別府発達医療センターからの施設支援で助言を受けたり、相談会などで助言を求めるようにしている。   |
|  | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか   | ○ | 今は、そのような活動は行っていない。   |
|  | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか  | ○ | 自立支援協議会には、法人内のスタッフが参加している。   |
|  | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                                   | ○ | 連絡帳の記入や、送迎時にその日の様子を保護者へお伝えしている。また、モニタリング時期に、成長の様子や現状について報告している。  |

|            |    |   |   |  |
|------------|----|---|---|--|
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・プログラム等）の支援を行っているか  | ○ | 毎年、ペアレント・プログラムをいきいきっ子クラブ等利用中の保護者や地域の保護者に向けて行っている。  |
|            | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | ○ | 利用開始の時にしている。   |
|            | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | ○ | 保護者には、日ごろの様子を伝えたり、ご自宅での様子や・学校での様子を総合的に考慮した点の説明を行い、保護者の意見もうかがいながら、計画書の同意を得るようにしている。                             |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | ○ | 普段から日頃の様子をうかがうようにしており、その都度相談に応じることができるよう支援を行っている。職員全員が「ご利用児や保護者にとって、いきいきっ子クラブ国東が安心して利用できる場」となるように意識し、対応していきたい。 |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | ○ | 今年度は、児童発達支援事業の保護者会を企画し、保護者会を開催したが、当日のキャンセルなどもあり、参加者がいない状況であった。その反省も含め、今後の保護者会の目的や内容なども検討していきたい。                |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | ○ | そのような場合には、保護者や子どもたちからの申し入れにできる限り対応できるようにしていきたい。  |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | ○ | 毎月、いきいきっ子国東だよりを発刊している。日頃の子どもたちの様子や活動内容などをお知らせしている。   |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | ○ | 留意している。  |
|            | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか   | ○ | その子どもにとって、どの手段が分かりやすいかを考慮しながら、支援を提供している。   |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | ○ | 現在は、行っていない。  |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | ○ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが、周知することにおいては、不十分な点もある。4月に保護者に対して文書でお知らせする等の対応を検討している。                    |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ | 避難訓練を定期的実施し、振り返りを行いながら、常に備えている。同時にBCPや安全計画の訓練、見直しなども実施していく。  |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか  | ○ | 利用前に保護者へのききとりで、服薬・てんかん発作等の状況確認を行っている。  |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | ○ | 保護者からの聞き取りで、対応を行っている。  |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ | ヒヤリハット・事故報告書を作成し、職員間で共有している。   |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ | 虐待防止委員会や身体拘束適正委員会等の研修に参加している。  |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか                           | ○ | やむをえず身体拘束を行う際には、計画書に記載し、保護者への同意を得るようにしている。   |

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

|             |  | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など  |
|-------------|--|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | 2  | 3             | 1   | ・構造上無理かもしれないがあと1部屋欲しい   |
|             | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | 3  | 2             | 1   | ・お迎えの時間帯に人数が厳しい時がある<br>・配置数は適切であるが、個別対応が必要な児等もいるので、適切な支援ができるようにチームで役割分担を決め、連携して対応するようにしている。 |
|             | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 4  | 2             |     | ・段差があるところがあり、簡易のスロープなどで対応している。  |
| 業務改善        | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | 5  | 1             |     | ・支援計画会議・モニタリング等に職員が多く参加できるようにしている。  |
|             | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 2  | 4             |     | ・今回が初のアンケートなので、今後活用していきたい。  |
|             | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 5  | 1             |     | ・HPで公開している。   |
|             | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 2  | 3             | 1   | ・まだ行っていない。  |
|             | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 6  |               |     | ・法人内の研修や施設外研修に参加し、研修の内容は必ず伝達する等して、職員の質の向上に努めている。  |
| 適切な支援の提供    | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6  |               |     | ・利用者さん、保護者さんのニーズを元に支援計画会議をしている。   |
|             | 10                                       | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 6  |               |     |   |
|             | 11                                       | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 4  | 2             |     | 職員間で話し合いながら行っている。   |
|             | 12                                       | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 4  | 2             |     | ・利用者さんが飽きないようにしている。   |
|             | 13                                       | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 6  |               |     | ・1日のスケジュールを決めている。   |
|             | 14                                       | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | 6  |               |     | 個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。  |
|             | 15                                       | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 6  |               |     | 前日の支援の振り返りと当日のご利用児の状況など確認し、職員間で当日の役割分担をするようにしている。   |
|             | 16                                       | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | 6  |               |     | ・引継ぎをしている   |
| 17          | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 6   |    |               |     |   |

|              |    |  |   |   |   |  |   |
|--------------|----|--|---|---|---|--|---|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | 6 |   |   |  | ・半年に一度見直しをしている。   |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     | 4 | 2 |   |  | ・ガイドラインの内容について職員全員で再確認し、ガイドラインを理解したうえで、どういった支援が必要かを考え活動を提供するようにしている。              |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | 6 |   |   |  | ・児童発達支援管理者が参加をしている。   |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 6 |   |   |  | ・予定表(1週間)を、もらっている。<br>・学校とも定期的に情報共有を行い、適切な支援が提供できるようにしている。ケースによっては、ケース会議にも参加している。 |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 5 | 1 |   |  | ・適切な支援が出来るようにしている。  |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 6 |   |   |  |   |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 5 | 1 |   |  |   |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 6 |   |   |  | ・職員研修を受けている。  |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  | 2 | 2 | 2 |  |   |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   |   | 5 | 1 |  | 法人内の相談支援事業所が協議会のメンバーとして参加しているので、要望や困りなどがあれば、意見を挙げるようにしている。                        |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 6 |   |   |  | ・その日の出来事等を、保護者さんへ伝えている。   |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか                        | 3 | 3 |   |  | 法人で、ペアレント・プログラムを毎年行っており、積極的に参加を呼び掛けている。   |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | 6 |   |   |  |   |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | 4 | 2 |   |  |   |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |   |   | 6 |  | 次年度は保護者会を開催できるように計画している。  |

|    |         |   |  |   |   |   |  |
|----|---------|---|--|---|---|---|--|
|    | 33      | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | 6  |   |   |   |  |
|    | 34      | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | 6  |   |   | ・毎月、いきいきっ子だよりむさしを発行している。  |  |
|    | 35      | 個人情報に十分注意しているか  | 6  |   |   |   |  |
|    | 36      | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 6  |   |   |   |  |
|    | 37      | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |  |   | 6 |   |  |
|    | 非常時等の対応 | 38  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 6 |   |   | ・マニュアルは作成しているが、保護者への周知が不十分などところがある。4月に保護者に対して文書でお知らせする等の対応を検討している。 |
|    |         | 39  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか              | 6 |   |   | ・毎月避難訓練の実施。BCP、安全計画についても訓練、計画の見直しを定期的に行う。                          |
| 40 |         | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 6  |   |   | ・法人内で研修会を行い、適切な対応ができるようにしている。全職員で虐待防止マニュアルの確認や、ストレスチェックなども実施している。 |  |
| 41 |         | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4  | 2 |   | 身体拘束が必要なケースがないので、今後必要性が生じた場合には、検討し計画に記載していきたい。                    |  |
| 42 |         | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 6  |   |   | ・アレルギー対応をしている。  |  |
| 43 |         | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 6  |   |   | ヒヤリハットについては、必ず職員会議で振り返りを行い、職員全員で対応策なども検討・共有できるようにしている。            |  |

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

|                  |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など  |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | ○  |               |     | 利用定員に応じたスペースが十分に確保できている。活動に応じて、空間を分ける等の配慮もできている。  |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |               |     | 適切な配置数は、確保できている。言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員と専門職をそろえている。   |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | ○  |               |     | 車いす利用の方も利用できるように、スロープなどを設置し、バリアフリー化に配慮している。   |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | ○  |               |     | 基本的に、全職員で会議を行うようにし、業務改善を図っている。  |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |               |     | 保護者からの貴重な意見を参考にできるようにしている。  |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | ○  |               |     | ホームページにて公開している。   |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    |               | ○   | 現在は行っていない。  |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |               |     | 法人内の研修や施設外研修に参加している。できるだけ研修会には積極的に参加できるように、業務の調整等も行い、研修の伝達なども必ず行うようにして、スタッフの質の強化に努めていきたい。             |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |               |     | 子どもの状況を把握し、子どもや保護者のニーズに応じた計画を作成している。  |
|                  | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | ○  |               |     | 子どもの状況を専門分野からもアセスメントしている。   |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |               |     | 職員間で話し合いながら、行っている。  |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |               |     | それぞれの専門分野を生かした活動プログラムを設定し、子どもたちの飽きがこないように考慮している。ST、OT、保育士の役割を決め、利用者のニーズに応じたより良い支援や活動プログラムを考え実施していきたい。 |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ○  |               |     | その日の状況に応じて、スケジュールを設定している。   |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか           | ○  |               |     | 個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。  |
|                  | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | ○  |               |     | 前日の支援を振り返り、職員間で話し合って、役割を分担している。   |
|                  | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | ○  |               |     | 支援の振り替りを行い、次の支援につなげるための打ち合わせを行っている。   |

|  |   |   |  |                       |
|--|---|---|--|-----------------------|
|  | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ |  | 毎日、記録を付け、職員間で、共有している。 |
|--|---|---|--|-----------------------|

|              |    |  |   |  |   |   |
|--------------|----|--|---|--|---|---|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | ○ |  |   | 職員間、関係機関と、モニタリングを行っている。                   |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     | ○ |  |   | どういった支援が必要かを検討し、活動を提供している。                |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | ○ |  |   | 関係機関と情報共有できるように児発管が参加している。                |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ |  |   | 学校とも定期的に情報共有を行い、適切な支援が提供できるようにしている。       |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | ○ |  |   | 現在、医療的ケアを必要としている児はいないが、そのような場合は体制を整えたい。   |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | ○ |  |   | 利用前に情報共有を行っている。                           |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | ○ |  |   | 開所して間もないので、これからはスムーズに情報提供できるよう努めていきたい。    |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | ○ |  |   | 児童発達支援センターへ施設支援をお願いしたり、相談会で助言を求めている。      |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  |   |  | ○ | 現在は行っていない。                                |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   |   |  | ○ | 法人内のスタッフが、出席はしている。                        |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | ○ |  |   | 保護者へ状況を伝え、自宅での様子を伺うようにしている。               |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか                        | ○ |  |   | 毎年、地域の保護者や、いきいきっ子等利用中の保護者へペアプロの研修会を行っている。 |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | ○ |  |   | 利用前・移転時に行っている。                            |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | ○ |  |   | できる限りお応えできるように努めている。                      |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |   |  |   | 今後計画し、実施していきたい。                           |

|         |    |   |   |  |   |  |
|---------|----|---|---|--|---|--|
|         | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | ○ |  |   | 苦情などがあった場合には、迅速に対応できるように準備をしていきたい。   |
|         | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | ○ |  |   | 毎月、お便りにて、日ごろの様子や活動内容を発信している。   |
|         | 35 | 個人情報に十分注意しているか  | ○ |  |   | 十分注意している。  |
|         | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○ |  |   | 個々の特性に応じて、配慮している。  |
|         | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   |  | ○ | 現在、行っていない。   |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | ○ |  |   | マニュアルは作成しているが、保護者への周知は、不十分などところもある。4月に保護者に対して文書でお知らせする等の対応を検討している。                           |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ |  |   | 月に一回訓練を行っている。BCP、安全計画についても訓練、計画の見直しを定期的に行う。消防署見学や災害時の避難場所の視察等も取り入れ、ご利用児に興味関心を持ってもらいながら進めていく。 |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ |  |   | 法人で研修会をおこない、適切な対応ができるようにしている。全職員で虐待防止マニュアルの確認を定期的に行っている。                                     |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか |   |  | ○ | そのような場合には、検討し計画に記載していきたい。  |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   |   |  | ○ | 保護者との聞き取りで対応している。  |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ |  |   | ヒヤリハットを記入し、会議で振り返りを行っている。  |

| 区分               | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいない | いいえ | ご意見                 |
|------------------|---|----|---------------|-----|---------------------|
| 環境・<br>体制整備      | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 10 | 1             |     |                     |
|                  | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 8  | 2             |     |                     |
|                  | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか                             | 6  | 5             |     | よくわからない。            |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか             | 11 |               |     |                     |
|                  | 5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか                                      | 11 |               |     |                     |
|                  | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                   | 4  | 5             | 2   |                     |
| 保護者<br>への<br>説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 5  | 1             |     |                     |
|                  | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか                         | 7  | 4             |     | 療育の内容を伝えてくれない時もあった。 |
|                  | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 7  | 4             |     | もう少し面談等、話す機会があれば良い。 |
|                  | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                              | 3  | 4             | 4   |                     |
|                  | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9  | 2             |     |                     |
|                  | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                      | 9  | 2             |     |                     |
|                  | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか    | 10 | 1             |     |                     |
|                  | 14 個人情報に十分注意しているか   | 10 | 1             |     |                     |
| 非常時<br>等の<br>対応  | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか                      | 8  | 3             |     |                     |
|                  | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                  | 9  | 2             |     |                     |
| 満足<br>度          | 17 子どもは通所を楽しみにしているか   | 10 |               |     |                     |
|                  | 18 事業所の支援に満足しているか   | 10 |               |     |                     |

(注釈)

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

.....

| 区分                | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいえ | いいえ | ご意見   |
|-------------------|---|----|--------------|-----|---|
| 環境・体制整備           | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 13 | 1            |     | ・施設内を良く見たことがないのでわかりません。(未回答1)   |
|                   | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 13 | 1            |     | ・PT・OT・STの資格がある職員に定期的のみてもらいたいです。(未回答1)  |
|                   | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか                             | 9  | 4            |     | ・事業所内を全て見ていないので分からない。見える範囲は大丈夫そうです。<br>・見学に行ったことがない<br>・確認していないので分からない (未回答2)   |
| 適切な支援の提供          | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか                      | 15 |              |     |   |
|                   | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか  | 14 | 1            |     | ・毎日療育的な活動を組み込んでくださり興味の幅を広げる機会があることがありがたい。   |
|                   | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                   | 4  | 8            | 1   | ・確認していないので分からない。(未回答2)  |
| 保護者への説明等          | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 15 |              |     |   |
|                   | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか                         | 15 |              |     |   |
|                   | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 14 | 1            |     |   |
|                   | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                              | 3  | 7            | 3   | ・「いいえ」にしたが、なくても良いどちらかといえば苦手なので。<br>・確認していないので分からない (未回答2)   |
|                   | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 14 | 1            |     | ・苦情がまだない  |
|                   | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                      | 15 |              |     |   |
|                   | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか    | 13 | 2            |     |   |
| 14 個人情報に十分注意しているか | 15  |    |              |     |   |
| 非常時等の対応           | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか                      | 10 | 5            |     |   |
|                   | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                  | 13 |              |     | (未回答 2)   |
| 満足度               | 17 子どもは通所を楽しみにしているか   | 15 |              |     |   |
|                   | 18 事業所の支援に満足しているか   | 15 |              |     | ・いつも臨機応変に対応して下さり助かります。ありがとうございます。<br>・大好きないきいき子クラブむさしで過ごすことをとても楽しみにしています。親として安心して仕事ができありがたいです。・土曜預かりしていただけるようになり大変助かっています。ありがとうございます。 |

(注釈)

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

| 区分               | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいない | いいえ | ご意見   |
|------------------|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備      | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか  | 8  | 3             |     | 今度、見学に行きます。                                   |
|                  | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか   | 10 | 1             |     | 言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員が配置され、専門的な支援ができています。 |
|                  | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか                             | 10 |               |     | 記入なし1<br>まだ新事業所を見学できていないので、分かりません。            |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか                      | 11 |               |     |   |
|                  | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか  | 10 | 1             |     |   |
|                  | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                   | 5  | 6             |     | 記入なし1   |
| 保護者<br>への<br>説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか   | 11 |               |     | いつも、丁寧に説明してくれて、助かります。                         |
|                  | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか                        | 11 |               |     |   |
|                  | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか   | 11 |               |     | 何かある度に、今の状況を教えてくださいるので、助かります。                 |
|                  | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか                              | 3  | 2             | 4   | 記入なし2<br>コロナ等の流行で、なかなか難しいと推測している。             |
|                  | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 10 | 1             |     |   |
|                  | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか                                      | 9  | 2             |     |   |
|                  | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか    | 11 |               |     |   |
|                  | 14 個人情報に十分注意しているか   | 11 |               |     |   |
| 非常時<br>等の<br>対応  | 15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか                      | 10 | 1             |     |   |
|                  | 16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか                                  | 9  | 2             |     |   |
| 満足<br>度          | 17 子どもは通所を楽しみにしているか   | 10 |               |     | 記入なし1<br>遠いのは、気になる。<br>とても、楽しみにしている。          |
|                  | 18 事業所の支援に満足しているか   | 10 |               |     | 記入なし1<br>細かいところまで、よくみてくれていて、とても満足している。        |

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

|                  |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など  |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | 6  | 2             |     | 広すぎると活動が大きくなりすぎる事がある為、ホールを区切ったり、ルールを決めて危険がないよう注意をしている。                |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | 4  | 4             |     | 下校時間が重なってしまったり、宿題の支援に職員が入ったりした時に不足する時間帯があるが、職員同士で声を掛け合いながら工夫している。     |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 7  | 1             |     | バリアフリーを考えるとドアの開閉の向きや個室の広さの改善が必要である。                                   |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | 4  | 3             |     | 定期的に職員全員が参加できる会議の時間をとる必要がある。  |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 4  | 3             |     | 保護者の方からの意見を職員間で共有して支援に生かしている。   |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 7  | 1             |     | 法人のホームページで公開している。   |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 2  | 5             |     |   |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 8  |               |     | 職員研修を行っている。<br>それぞれの職員が、進んで研修に出ている。                                   |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 6  | 2             |     | 各関係機関とも連携を図ってニーズに応えるようにしている。  |
|                  | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 4  | 4             |     |   |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 7  | 1             |     | 職員間で話し合い、活動計画を立案している。   |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 7  | 1             |     | 個の状況、集団の状態に柔軟に対応をしている。複数の職員が定期的に担当を入れ替え対応し、固定化を防いでいる。                 |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 8  |               |     | 職員会議の中でタイムスケジュールやグループ分け等行っている。また、当日の利用されるお子さんによっても課題を決め、対応できるようにしている。 |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | 5  | 3             |     | 個別の活動、集団活動を組み合わせ、計画を作成している。個の実態における目標の設定や、集団で伸ばしたい力など組み込んで作成している。     |
|                  | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 7  | 1             |     | 打ち合わせの内容を可視化し、全職員で共有できるようにしている。開所前に打ち合わせを行っている。                       |
|                  | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | 4  | 3             | 1   | 記録を残すことでも振り返りを行い、全職員で共有している。  |

|    |  |   |   |   |
|----|--|---|---|---|
| 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 5 | 3 | 複数の職員に聞き取りを行うことで細かい行動のきろくが取れるようにし、支援につなげている。状況把握でとどまらず、改善に向けて話し合っている。 |
|----|--|---|---|---|

|              |    |  |   |   |   |  |
|--------------|----|--|---|---|---|--|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | 8 |   |   | 適宜モニタリングを行い、見直しを行っている。関係機関の情報を元に弾力的に見直しを行っている。                         |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか                                    | 6 | 2 |   |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | 8 |   |   | 児童発達支援管理責任者が、担当者会議に参加している。   |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 8 |   |   |  |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 3 | 3 | 1 | 現在は、医療的ケアの必要な児はいない。  |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 3 | 4 |   | 利用前に情報共有会議をおこなっている。  |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 5 | 2 |   | 移行先の事業所にて、担当者会議を行った。情報の引継ぎを丁寧に行い、本人さんや保護者が安心して移行できるようサポートしている。         |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 6 | 2 |   | 施設支援等を活用し、助言をいただいている。  |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  | 1 |   | 6 |  |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   |   | 5 | 2 |  |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 5 | 3 |   | 送迎時等に、学校や家での状況などを伺うようにしたり、その日の活動内容や様子をお伝えしている。                         |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか                        | 3 | 5 |   | 参加の声掛け等し、実施を試みるが、コロナの影響でできていない。助言というよりも、おうちの方々に対して、頑張りを認める声掛けはおこなっている。 |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | 8 |   |   | 利用開始の際には、説明を行っている。   |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | 4 | 4 |   | 保護者に寄り添って受け止めている。  |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |   | 2 | 5 | 現在は開催できていない状態だが、近いうちに関催できる準備をしていきたい。                                   |

|         |    |   |   |   |   |  |
|---------|----|---|---|---|---|--|
|         | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | 7 | 1 |   |  |
|         | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | 6 | 1 |   | 毎月、いきいきっ子だよりを発行し、ホームページ等に掲載している。                           |
|         | 35 | 個人情報に十分注意しているか  | 8 |   |   | 十分配慮している。  |
|         | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 6 | 2 |   | 個々に対応できるようにしている。   |
|         | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   | 5 | 2 | 行事招待ではないが施設の見学希望の方にはいつでも見学してもらっている。                        |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 3 | 5 |   | 災害が起きた時の避難場所等をお便りにてお知らせをしている。                              |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 7 | 1 |   | 事前予告あり、なしの両方の訓練を実施している。今年度は消火訓練を4月におこない、10月には通報訓練を行う予定である。 |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 8 |   |   | 担当者が、研修会に参加し、職員全体での研修会も設けている。                              |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 5 |   | 現在、身体拘束を行う必要のある子どもはいない。                                    |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 5 | 3 |   | 保護者からの聞き取りで、除去食や形態を変え対応している。                               |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 7 | 1 |   | 事業所内で共有している。   |

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

|             |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いいえ | いいえ | 改善目標、工夫している点など                              |
|-------------|----|---|----|--------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備 | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | 2  | 4            | 1   | ・構造上無理かもしれないがあと1部屋欲しい                       |
|             | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | 3  | 4            |     | ・お迎えの時間帯に人数が厳しい時がある                         |
|             | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | 4  | 3            |     | ・段差があるところは簡易のスロープ等に対応している。<br>・段差があるところがある。 |
| 業務改善        | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | 5  | 2            |     | ・モニタリング等に職員が多く参加できるようにしている                  |
|             | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | 2  | 5            |     | ・今回は初のアンケートなので、今後活用していきたい。                  |
|             | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | 5  | 2            |     |   |
|             | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             | 2  | 4            | 1   | ・まだ行っていない。                                  |
|             | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | 7  |              |     | ・研修の情報は、伝えなるべく参加できるようにしている。                 |
| 適切な支援の提供    | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 7  |              |     | ・利用者さん、保護者さんのニーズを元に支援計画会議をしている。             |
|             | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | 6  | 1            |     |   |
|             | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | 3  | 4            |     |   |
|             | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | 4  | 3            |     | ・利用者さんが飽きないようにしている。                         |
|             | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | 6  | 1            |     | ・1日のスケジュールを決めている。                           |
|             | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | 5  | 2            |     |   |
|             | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | 5  | 2            |     |   |
|             | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | 5  | 1            |     | ・引継ぎをしている                                   |
|             | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | 7  |              |     |   |

|              |    |  |   |   |   |   |
|--------------|----|--|---|---|---|---|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | 7 |   |   | ・半年に一度見直しをしてる                           |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     | 3 | 3 | 1 |   |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | 6 | 1 |   | ・児童発達支援管理者が参加をしている。                     |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 7 |   |   | ・予定表(1週間)を、もらっている。                      |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | 5 | 2 |   | ・適切な支援が出来るようにしている。                      |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | 7 |   |   |   |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | 5 | 2 |   |   |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | 6 | 1 |   | ・職員研修を受けている。                            |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  | 2 | 3 | 2 |   |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   | 1 | 5 | 1 |   |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | 7 |   |   | ・その日の出来事等を、保護者さんへ伝えている。                 |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか                        | 1 | 5 | 1 | 法人で、ペアレント・プログラムを毎年行っており、積極的に参加を呼び掛けている。 |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | 6 | 1 |   |   |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | 4 | 3 |   |   |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |   | 4 | 3 |   |

|         |    |   |   |   |   |                |
|---------|----|---|---|---|---|----------------|
|         | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | 7 |   |   |                |
|         | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | 7 |   |   |                |
|         | 35 | 個人情報に十分注意しているか  | 7 |   |   |                |
|         | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 7 |   |   |                |
|         | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   |   | 5 | 2 |                |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | 3 | 4 |   |                |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 6 | 1 |   | ・避難訓練の実施。      |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 7 |   |   | ・研修へ参加をしている。   |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 3 | 4 |   |                |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 7 |   |   | ・アレルギー対応をしている。 |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 4 | 3 |   |                |
|         |    |   |   |   |   |                |

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

|                  |    | チェック項目  | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など  |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・<br>体制整備      | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | ○  |               |     | 利用定員に応じたスペースが十分に確保できている。活動に応じて、空間を分ける等の配慮もできている。      |
|                  | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |               |     | 適切な配置数は、確保できている。言語聴覚士・作業療法士・保育士・発達障がい者専門員と専門職をそろえている。 |
|                  | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           | ○  |               |     | 車いす利用の方も利用できるように、スロープなどを設置し、バリアフリー化に配慮している。           |
| 業務改善             | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | ○  |               |     | 基本的に、全職員で会議を行うようにし、業務改善を図っている。                        |
|                  | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |               |     | 保護者からの貴重な意見を参考にできるようにしている。                            |
|                  | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | ○  |               |     | ホームページにて公開している。                                       |
|                  | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    |               | ○   | 現在は行っていない。  |
|                  | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |               |     | 法人内の研修や施設外研修に参加している。                                  |
| 適切な<br>支援の<br>提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |               |     | 子どもの状況を把握し、子どもや保護者のニーズに応じた計画を作成している。                  |
|                  | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                   | ○  |               |     | 子どもの状況を専門分野からもアセスメントしている。                             |
|                  | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |               |     | 職員間で話し合いながら、行っている。                                    |
|                  | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |               |     | それぞれの専門分野を生かした活動プログラムを設定し、子どもたちの飽きがこないように考慮している。      |
|                  | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ○  |               |     | その日の状況に応じて、スケジュールを設定している。                             |
|                  | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | ○  |               |     | 個々の状況に合わせた支援ができるように工夫している。                            |
|                  | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | ○  |               |     | 前日の支援を振り返り、職員間で話し合っ、役割を分担している。                        |
|                  | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | ○  |               |     | 支援の振り替りを行い、次の支援につなげるための打ち合わせを行っている。                   |
|                  | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | ○  |               |     | 毎日、記録を付け、職員間で、共有している。                                 |

|              |    |  |   |  |   |  |
|--------------|----|--|---|--|---|--|
|              | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                             | ○ |  |   | 職員間、関係機関と、モニタリングを行っている。                  |
|              | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか                                     | ○ |  |   | どういった支援が必要かを検討し、活動を提供している。               |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | ○ |  |   | 関係機関と情報共有できるように児発管が参加している。               |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ |  |   | 学校とも定期的に情報共有を行い、適切な支援が提供できるようにしている。      |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             | ○ |  |   | 現在、医療的ケアを必要としている児はいないが、そのような場合は体制を整えたい。  |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                | ○ |  |   | 利用前に情報共有を行っている。                          |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | ○ |  |   | 開所して間もないので、これからはスムーズに情報提供できるよう努めていきたい。   |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | ○ |  |   | 児童発達支援センターへ施設支援をお願いしたり、相談会で助言を求めている。     |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                  |   |  | ○ | 現在は行っていない。                               |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   |   |  | ○ | 法人内のスタッフが、出席はしている。                       |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | ○ |  |   | 保護者へ状況を伝え、自宅での様子を伺うようにしている。              |
|              | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・プログラム等の支援を行っているか                        | ○ |  |   | 毎年、地域の保護者や、いきいき子等利用中の保護者へペアプロの研修会を行っている。 |
| 保護者への説明責任等   | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | ○ |  |   | 利用前・移転時に行っている。                           |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | ○ |  |   | できる限りお応えできるように努めている。                     |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          |   |  |   | 今後計画し、実施していきたい。                          |

|    |         |   |  |   |   |                                    |                                    |
|----|---------|---|--|---|---|------------------------------------|------------------------------------|
|    | 33      | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか             | ○  |   |   | 苦情などがあった場合には、迅速に対応できるように準備をしていきたい。 |                                    |
|    | 34      | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                               | ○  |   |   | 毎月、お便りにて、日ごろの様子や活動内容を発信している。       |                                    |
|    | 35      | 個人情報に十分注意しているか  | ○  |   |   | 十分注意している。                          |                                    |
|    | 36      | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | ○  |   |   | 個々の特性に応じて、配慮している。                  |                                    |
|    | 37      | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか  |  |   | ○ | 現在、行っていない。                         |                                    |
|    | 非常時等の対応 | 38  | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ |   |                                    | マニュアルは作成しているが、保護者への周知は、不十分なところもある。 |
|    |         | 39  | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか              | ○ |   |                                    | 月に一回訓練を行っている。                      |
| 40 |         | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○  |   |   | 法人で研修会をおこない、適切な対応ができるようにしている。      |                                    |
| 41 |         | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか |  |   | ○ | そのような場合には、検討し計画に記載していきたい。          |                                    |
| 42 |         | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   |  |   | ○ | 保護者との聞き取りで対応している。                  |                                    |
| 43 |         | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○  |   |   | ヒヤリハットを記入し、会議で振り返りを行っている。          |                                    |

# 令和5年度 自己評価反省

## ●保護者からの意見に対して

- ・事業者の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか  
よく見ていないのでわからない。  
→いつでも施設見学に来てください。  
ドアが手動で開けられるので、少し心配です。  
→現在は対一で支援に入っているため、見守りを必ずしています。  
今後、危険回避の為の対策を考えていきます。
- ・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか  
交流について、あまり把握できていません。  
→園と併用している利用者さんが多く、普段から園で他児と交流できている状況であるため、現在は事業所で園と一緒に活動するという形はとっていません。関係機関との会議や送迎時などに、園の先生方からご利用児と他児の交流の様子等を確認するようにしています。
- ・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか  
把握できていません。保護者同士の交流があると良いと思います。  
→コロナ禍でできていませんでしたが、来月(11月)開催する予定です。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。  
対応をされていると思うのですが、内容を把握していません。  
→緊急連絡先を一つにまとめ、保管をしています。避難先から連絡が出来るようにしています。  
緊急時対応マニュアルの周知、説明はまだない。  
→感染症対応マニュアルとしては、その都度対応をし、保護者へお伝えしていますが、マニュアルはお伝えができていないので、周知ができるよう努めていきたいと思います。
- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。  
わかりません。  
→災害時の避難場所としては、おたよりに一度掲載しています。今後は、避難訓練等の様子はおたよりに掲載し、お知らせしようと思います。
- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか  
療育の内容を伝えてくれない時もあった。  
→保護者の方とのコミュニケーションを日頃も意識し、その日の療育内容を伝えられるように気をつけます。
- ・保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか  
もう少し面談等、話す機会があれば良い。  
→貴重な意見、ありがとうございます。いつでも見学や面談は可能なため、お知らせください。

また、面談の機会をつくっていきます。

## ●職員の反省として

・事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

→バリアフリー化としては、トイレのドアの開閉の向きや広さの改善が必要である為、近いうちに改善をしていく。

・業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか

→会議は行っているが、時間帯により会議に参加できない職員もいる為、全員が情報の把握、対応ができるようしっかりと申し送りをし、情報共有おこなっていく。

・保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

→送迎を利用されている方とは、なかなか保護者の方と関わりが少ない為、今後も連絡帳や電話等で密に情報共有を行っていく。

・児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか

→ガイドラインの把握が不十分の為、再度確認をおこなう。入職して把握できていない部分があるので、これから勉強していきたい。

・活動プログラムの立案をチームで行っているか

→活動を職員間で話し合いながら立案している。しかし、特定の職員が立案していることもある為、職員全員で立案できるよう、会議の時間の中で話し合いをしていく。

・父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

→(放課後)現在は開催できていない状態だが、近いうちに開催できる準備をしていきたい。

(児発)コロナ禍でできていなかったが、11月に開催する予定である。

## いきいきっ子クラブ 自己評価表について

◎保護者向け 児童発達支援評価表、放課後等デイサービス評価表

→前回の内容と変わりなし。

◎事業所職員向け 児童発達支援評価表、放課後等デイサービス評価表

→変化した箇所については赤字で記載。

◎事業所全体による評価

→前回と比較して変わった内容や追記した内容について記載。

## いきいきっ子クラブ 自己評価等結果報告 追加内容

・令和5年度は9月に保護者と職員による評価、10月に事業所による評価を実施し、11月6日に県障害福祉課へ自己評価結果等報告書を提出、同日にホームページにも自己評価結果を公表いたしました。

しかし、2月中旬に「自己評価結果報告書は提出期限が令和6年4月15日になっているため、11月に実施した評価に加え、3月頃に再評価を実施し、変化がある点については県障害福祉課に報告をするように」との指導がありました。

その指導を受けて、再度3月11日～3月27日にかけて、保護者・職員全員に対し、いきいきっ子クラブの評価に関して、前回の評価と変わった点はあるか確認を致しました。

**保護者へ意見を確認したところ、前回と同様の内容で変わりはありませんでした。**

**職員の評価に関しては、前回の評価と変わった点等がありましたので、対応策について検討した内容などをご報告致します。**

## 令和5年度 自己評価（事業所全体による評価）まとめ

・放課後等デイサービスと児童発達支援事業のそれぞれのガイドラインを、再度読んでもらい、確認が済んだらサインをしてもらうことで、職員全員が把握できるよう工夫した。

・毎朝の申し送りで情報共有等おこなってきたが、活動の立案は特定の職員になることが多かった為、定期的に会議をする時間を設け、その中で活動内容や密に情報共有をおこなうようにした。

・児童クラブとの交流会は先方にも良かったとの言葉もいただいたので、今年度の長期休暇も計画、実施したい。

・保護者交流会は、今回は自由に交流をしていただいたが、次回からは、話しのテーマを決めたり、講師を呼んでお話をしてもらったりと、少しずつ内容を工夫できればと思う。

・緊急時対応マニュアルや防犯マニュアル、感染対応マニュアルについて、保護者に年度初めに再度、文書でお知らせをしていく。

以上

令和5年度 自己評価反省 いきいきっ子クラブむさし (放デイ)

○保護者から

- ・施設内を良く見たことがない  
→いつでも見に来てください。
  
- ・PT・OT・STの資格がある職員に定期的に見てもらいたい。  
→今現在PT・OT・ST資格がある職員は、いきいきっ子クラブむさしには配属されていないので定期的には難しいですが、法人内の有資格者に療育のアドバイスをもらい活動に反映させています。
  
- ・放課後児童クラブ等との交流について確認していないので分からない。  
→今現在はできていません。今後検討をしていきます
  
- ・父母の会の活動について確認していないので分からない。  
→今現在はできていません。今後検討をしていきます

○職員の自己評価より

- ・訓練スペースがあと1部屋欲しい  
→パーティションなどを使い、落ち着いて過ごせるコーナーを作り対応している。
  
- ・お迎えの時間に職員数が厳しい時間がある。  
→お迎え時間を調整しながら対応している。

## いきいきっ子クラブむさし 自己評価表について

◎保護者向け 児童発達支援評価表、放課後等デイサービス評価表

→前回の内容と変わりなし。

◎事業所職員向け 児童発達支援評価表、放課後等デイサービス評価表

→変化した箇所については赤字で記載。

◎事業所全体による評価

→前回と比較して変わった内容や追記した内容について記載。

## いきいきっ子クラブむさし 自己評価等結果報告 追加内容

- ・令和5年度は9月に保護者と職員による評価、10月に事業所による評価を実施し、11月6日に県障害福祉課へ自己評価結果等報告書を提出、同日にホームページにも自己評価結果を公表いたしました。

しかし、2月中旬に「自己評価結果報告書は提出期限が令和6年4月15日になっているため、11月に実施した評価に加え、3月頃に再評価を実施し、変化がある点については県障害福祉課に報告をするように」との指導がありました。

その指導を受けて、再度3月11日～3月27日にかけて、保護者・職員全員に対し、いきいきっ子クラブむさしの評価に関して、前回の評価と変わった点はあるか確認を致しました。

保護者へ意見を確認したところ、前回と同様の内容で変わりはありませんでした。

職員の評価に関しては、前回の評価と変わった点等がありましたので、対応策について検討した内容などをご報告致します。

## 令和5年度 自己評価（事業所全体による評価）まとめ

- ・前回の自己評価の際、放課後等デイサービスのガイドラインの内容について十分に理解できていない職員がいることが分かったので、職員全員で再度放課後等デイサービスのガイドラインを確認し、ガイドラインを理解したうえで、どういった支援が必要かを考え活動を提供するように意識づけしている。
- ・最近では、学校とも定期的に情報共有を行い、適切な支援が提供できるようにしている。ケースによっては、ケース会議にも参加させてもらい、情報共有や支援内容の検討等を行っている。
- ・今年度は保護者会の企画ができなかったため、次年度は保護者会を開催できるように計画している。
- ・非常災害時の対応として、毎月避難訓練を実施し、BCP・安全計画についても訓練、計画の見直しを定期的に行う。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルについては、作成しているが、保護者への周知が不十分なところがある。4月に保護者に対し文書でお知らせする等の対応を検討している。
- ・ヒヤリハットについては、必ず職員会議で振り返りを行い、職員全員で対応策なども検討・共有できるようにしている。

以上

## 令和5年度 自己評価反省

### ●保護者からの意見として

・いきいきっ子クラブ国見が、国東へ移動になり不便さを感じている。

→熊毛からの移転により、利用の便に関しては、使いやすくなった方もいるが、国見の利用者の方にとっては、不便さを感じている保護者の方も多くいるので、不安解消に努めていきたい。

送迎時間が長くなり、利用時間が短くなってしまったことは否めないが、建物の中も広くなり、遊びの幅も広がり、活動は今まで以上提供しやすくなった。

・活動プログラムが固定化されていないか

→活動内容においては、日々振り返りを行い、また新しいものを提供できるようにしている。

### ●職員の自己評価より

・これまでの放デイのみの事業所ではなく、児発も同時に提供している。

職員も半数が、異動・新採用のなか、利用者の理解そして、利用者の方がよりいきいきっ子クラブで安心して、楽しく療育できる場となるように日々話し合いを重ねている。

・これからも、風通しのよい事業所となるように、保護者・関係機関とも密に連携しながら、子どもたちの成長を促していきたい。

## いきいきっ子クラブ国東 自己評価等結果報告 追加内容

- ・令和5年度は9月に保護者と職員による評価、10月に事業所による評価を実施し、11月6日に県障害福祉課へ自己評価結果等報告書を提出、同日にホームページにも自己評価結果を公表いたしました。

しかし、2月中旬に「自己評価結果報告書は提出期限が令和6年4月15日になっているため、11月に実施した評価に加え、3月頃に再評価を実施し、変化がある点については県障害福祉課に報告をするように」との指導がありました。

その指導を受けて、再度3月11日～3月27日にかけて、保護者・職員全員に対し、いきいきっ子クラブ国東の評価に関して、前回の評価と変わった点はあるか確認を致しました。

**保護者へ意見を確認したところ、前回と同様の内容で変わりはありませんとのことでした。**

**職員の評価に関しては、前回の評価と変わった点等がありましたので、対応策について検討した内容などをご報告致します。**

## 令和5年度 自己評価（事業所全体による評価）まとめ

- ・施設内でも職員の質の向上のための施設内研修への参加、施設外への研修への参加も積極的に行い、スタッフの質の強化に努めていきたい。

・ST、OT、保育士の役割を決め、利用者のニーズに応じたより良い支援を行っていきたい。

・学校や、医療機関、保健師等との関係者との会議で情報共有も行いながら、個々の特性に応じたサービスの提供に今後も努めていきたい。

・児童発達支援事業の保護者向けに保護者会を開いたが、当日のキャンセルもあり、参加者がいなかったため、その反省の含め、今後の在り方・進め方を決めていきたい。

・避難訓練やBCPなど、災害時に備えて訓練等を強化していきたい。

消防署見学も取り入れ、利用者の方の興味関心も持ってもらいながら、進めていく。

・日頃の利用者の様子を口頭や、電話、お便りなどを通じて、伝えるようにし、「いきいきっ子クラブ」が安心して利用できる場となるように努めていきたい。

以上

## いきいきっ子クラブ国東 自己評価表について

◎保護者向け 児童発達支援評価表、放課後等デイサービス評価表

→前回の内容と変わりなし。

◎事業所職員向け 児童発達支援評価表、放課後等デイサービス評価表

→変化した箇所については赤字で記載。

◎事業所全体による評価

→前回と比較して変わった内容や追記した内容について記載。